



▶41

す。これを「無自覚性低血糖」と呼びます。

—低血糖になった時の対処法は。

糖尿病治療で近年は注目されている低血糖。徳島県糖尿病専門医会代表の天満仁医師(53)に怖さや対策を聞いた。

—低血糖とは。

血液中のアドレナリンの量が少なくなっている状態のことです。血糖値は通常70～140mg/dlの狭い範囲に維持されています。症状の有無にもよりますが、70mg/dl以下が低血糖の目安といえます。低血糖は食事の量や時間、薬の飲み間違い、運動量等により誘発されることが多く、長期的にも短期的にもさまざまな害を及ぼします。短期的には低血糖症状のため生活の質が低下したり、糖尿病のコントロールが悪くなりります。また長期的には不整脈、狭心症、心筋梗塞などの心血管疾患を発症させたり、認知機能を低下させることがあります。

—低血糖になるとどんな症状が現れますか。

だいたい70mg/dl以下になると冷や汗や動悸、手や足のしびれなどがあります。だいたい70mg/dl以下になると冷や汗や動悸、手や足のしびれなどが現れます。

警告サインに注意して

HbA1cのコントロールと、死亡率、重症低血糖の関係

| HbA1c | 6.0%未満 (厳格なコントロール) | 7.0～7.9% (緩やかなコントロール) |
|--------|-----------------------|--------------------------|
| 心血管死 | 2.6% | 1.8% |
| 総死 | 5.0% | 4.0% |
| 重症の低血糖 | 16.2% | 5.1% |

指の震えなどが起こります。50mg/dlでは目立たないことがあります。頭痛、さらに30mg/dl以下でも血糖が少なくなると危険ですよ」との警告サイドですが、症状は人によって特有です。冷や汗の人は冷や汗、動悸の人は動悸の人が多いことを知つておいてください。

—血糖値が参考になるのですね。

あくまでも目安と考えください。また常に同じ血糖値で症状が現れるわけがないこともあります。低血糖を繰り返している人は体が慣れて感じ方が鈍くなり、50mg/dlになつても気付かず、突然重篤な症状を起こすこともあります。低血糖は長期的に何をください。

—低血糖は長期的に何をください。

—低血糖は長期的に何をください。また常に同じ血糖値で症状が現れるわけがないこともあります。低血糖を繰り返している人は体が慣れて感じ方が鈍くなり、50mg/dlになつても気付かず、突然重篤な症状を起こすこともあります。低血糖は長期的に何をください。

HbA1cは過去1～2ヶ月間の血糖値の平均です。従つて、この間に高血糖と低血糖を繰り返していく方よりもHbA1cは低い値になる可能性があります。合併症の予防には、この値を単に下げれば良いのではなく、血糖の変動が少ないなどらかな「質の良いHbA1c」を目指す治療が理想だといえます。16年、日本糖尿病学会と日本老年病学会は世界に先駆けて薬の内容や年齢により、HbA1cをこれ以上低下させてはいけないという下限を定めました。それほど、低血糖は放置してはならないものなのです。低血糖の警告サインを見逃さず、重篤な症状に陥る前に早めに対処することが欠かせません。

天満 仁

県糖尿病
専門医会代表